

広 報

みなみふらのの

3

2026.MARCH No.840



南富良野町公式 LINE に登録して、
カラー版広報誌を見てみよう
お持ちのスマートフォンで読み取ってみましょう!!

友好のまち・本部町の児童と過ごした冬の思い出
「沖縄県本部町親善交流事業」

(1月28日)

沖縄県本部町交流団の皆さん ようこそ



▲カーリング体験でミニゲームを実施



▲初めてのスキーにチャレンジ



▲札幌の夜はジンギスカンを堪能

本町と「友好の町」である沖縄県本部町とは、平成3年から子どもたちによる親善交流事業を行っています。33回目を迎えた今年は、1月26日から30日までの4泊5日の日程で、本部町から22名の交流団（小学5年生16名、随行者6名）が本町を訪れ、町内の児童との交流や冬の北海道ならではの体験を行いました。

交流団の皆さんは、初日に本町を早朝に出発しましたが、大雪の影響により新千歳空港着の予定が変更となり、交流事業としては初めて帯広空港に着陸しました。その後、本町に到着したのは午後10時30分過ぎとなり、予定していた歓迎会は中止となりましたが、初めて見る雪

に児童たちは大変喜んでいました。2日目は、南富良野小学校を訪問し、5年生児童との交流学習を実施しました。雪遊びを通じて親睦を深めたほか、午後からは道の駅南ふらの物産センター2階のイトウ展示コーナーで「イトウ」と「ヒグマ」について学習し、除雪機械を使用した除雪体験や、空知川スポーツリンクスでのカーリング体験を行いました。初めは苦戦しながらも、最後にはミニゲームを楽しみました。

3日目は、かなやま湖でワカサギ釣りを体験し、釣り上げたワカサギを試食しました。その後、本部町の児童が特に楽しみにしていたスキー体験を実施し、南富良野西小学校の児童や先生方、スキー連盟の皆さんの指導を受け、全員が滑れるようになりました。夜はホームステイ先の各家庭で交流を深めました。

4日目は、ホームステイ先の家族に見送られながら本町を出発し、札幌市へ移動しました。市内では、ラーメン横丁や札幌時計台、大倉山ジャンプ競技場を見学し、夜にはジンギスカンを味わいました。最終日は、多くの思い出を胸に新千歳空港から本部町へ帰路につきました。なお、今年6月下旬には、本町の6年生が南富良野町交流団として本部町を訪問する予定です。

ペットボトルの水平リサイクルに関する協定を締結

町は、アサヒ飲料株式会社、ジャパンテック株式会社、ペトリファインテクノロジー株式会社ならびに中富良野町、富良野市、占冠村とともに、「ペットボトルの水平リサイクルの実施に関する協定書」を締結しました。

本協定は、家庭から分別回収された使用済みペットボトルを新たなペットボトルへと再生し、再び飲料容器として利用する「ボトルtoボトル」リサイクル事

業を推進するものです。資源を繰り返し活用することで、廃棄物の削減と二酸化炭素排出量の低減を図り、資源循環型社会の実現を目指します。

事業では、回収したペットボトルを溶かして再生する「メカニカルリサイクル」と、化学分解によって高品質な原料へと再生する「ケミカルリサイクル」の二つの手法を組み合わせ、従来以上のリサイクル率向上に取り組みます。これにより、リサイクル工程で発生する残余物も有効に活用し、効率的かつ持続可能な資源循環を進めていきます。

また、協定に基づき、ペットボトルの分別やリサイクルの重要性を伝える啓発活動や環境教育にも取り組み、町民一人ひとりの環境意識の向上を図ります。

今後は、関係企業や近隣自治体と連携しながら、安定した回収と再生の仕組みづくりを進め、環境に配慮したまちづくりを推進していきます。



ペットボトルの水平リサイクルの実施に関する協定を締結

高校生が開発したタモの売上金をイトウ保護団体へ寄附

南富良野高等学校のボランティア同好会は、シカの角を活用して開発した釣り用のタモの売上金の一部を、町内でイトウの保護活動に取り組む団体「ソープチ・イトウの会」(三枝康男会長)へ寄附しました。

このタモは、野生鳥獣害対策で発生したシカの角を有効活用し、環境保全につなげようとする生徒たちが考案したものです。自然素材ならではの風合いと丈夫さが特徴で、地域資源の新たな

活用方法として注目されています。

完成したタモは、道の駅南ふらの物産センターで販売されており、来店者からは「発想が面白い」「地域らしさが感じられる」といった声も聞かれ、関心を集めています。

タモを発案した1年生の吉田伊織さんは、「自分も趣味で釣りをしているの、魚が減っている現状を身近に感じていました。少しでも魚が増えるために役立ててほしい」と話しています。

また、製作に関わった生徒は「シカの角がこんな形で役立つとは思わなかった」「環境のことを考える良いきっかけになった」と活動を振り返りました。

寄附金は、イトウの生息環境の保全や調査、普及啓発活動などに活用される予定です。

同好会では、今回の取り組みを通じて得た経験を生かし、今後も地域や自然と向き合う活動を続け、持続可能な地域づくりに貢献していきたいとしています。



ボランティア同好会のメンバーと三枝会長

まちの民生委員・児童委員を紹介します

町内には、厚生労働大臣と北海道知事から委嘱を受けた11名の民生委員・児童委員が活動しています。

民生委員は、住民の皆さんの立場に立って相談に応じ、必要な援助を行うなど、地域の福祉向上に努める役割を担っており、全員が「児童委員」を兼ねています。

児童委員は、地域の子どもたちが安心して成長できるよう見守りを行うほか、子育て中の不安や妊娠期の心配ごとなど、子どもや家庭に関する相談・支援を行います。また、このうち2名は、児童に関する支援を専門的に担当する「主任児童委員」を兼務しています。

各地区には担当の委員がいますので、暮らしの中で困りごとや相談ごとがありましたら、どうぞお気軽にお声がけください。

 <p>高橋 紀代美 ①幾寅 ②仲町・住吉町 ・農家地区 ③ 52 - 2127</p>	 <p>山田 和彦 ①幾寅 ②西町・岐阜町 ・東鹿越地区 ③ 52 - 2669</p>	 <p>副会長 山上 隆裕 ①金山 ②金山全域 ③ 54 - 2354</p>	 <p>会長 後藤 健壽 ①幾寅 ②栄町・内藤 ③ 090 - 7650 - 6832</p>	<p>○委員の プロフィール 役職 氏名（敬称略） ①住所 ②担当地区 ③電話番号</p>
 <p>種田 保子 ①下金山 ②下金山全域 ③ 55 - 2235</p>	 <p>中野 博司 ①落合 ②落合全域 ③ 38 - 4840</p>	 <p>大道 松枝 ①幾寅 ②朝日町・千木町 ③ 52 - 2572</p>	 <p>田口 ひろ子 ①幾寅 ②東町 ③ 52 - 2834</p>	
 <p>主任児童委員 中島 洋子 ①幾寅 ②町内全域 ③ 52 - 2360</p>	 <p>主任児童委員 山下 勝子 ①幾寅 ②町内全域 ③ 52 - 2198</p>	 <p>久保田 佑美香 ①北落合 ②北落合全域 ③ 56 - 7414</p>		

第51回衆議院議員総選挙投票結果

投票率 小選挙区 71.87%
比例代表 71.87%

2月8日、第51回衆議院議員総選挙及び第27回最高裁判所裁判官国民審査が町内5投票所で一斉に行われました。今回の投票率は、小選挙区71・87%（前回70・44%）比、比例代表71・87%（前回70・44%）、国民審査69・92%（前回70・39%）となりました。

また、同日午後8時から保健福祉センターみなくまで行われた開票事務は、午後9時に衆議院小選挙区、午後9時30分に衆議院比例代表及び国民審査が終了し、町内における得票結果が明らかになりました。

なお、町内各投票区の投票状況と得票状況は各表のとおりです。

候補者氏名	党派	町内得票数	6区得票数
おぎう 和敏	日本共産党	66	14,978
にしかわ 将人	中道改革連合	513	79,954
当選 東くによし	自由民主党	683	121,276

政党名	町内得票数	北海道選挙区得票数	当選者数
日本共産党	50	134,084	
社会民主党	24	31,754	
国民民主党	109	218,850	1
日本保守党	22	60,119	
日本維新の会	42	93,966	
参政党	68	163,329	
チームみらい	81	134,613	
自由民主党	433	911,742	4
中道改革連合	348	605,889	3
れいわ新選組	63	76,099	
減税日本・ゆうこく連合会	13	32,878	

審査に付される裁判官の氏名	罷免を可とする投票数	罷免を可としない投票数
高 須 順 一	188	1,047
沖 野 眞 已	186	1,049

投票区分		当日の有権者数(人)			投票者数(人)			投票率(%)		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計
第1投票区 北 落 合	小選挙区	34	36	70	29	29	58	85.29	80.56	82.86
	比例代表	34	36	70	29	29	58	85.29	80.56	82.86
	国民審査	34	36	70	28	28	56	82.35	77.78	80.00
第2投票区 落 合	小選挙区	49	47	96	37	33	70	75.51	70.21	72.92
	比例代表	49	47	96	37	33	70	75.51	70.21	72.92
	国民審査	49	47	96	35	31	66	71.43	65.96	68.75
第3投票区 幾寅・東鹿越	小選挙区	719	697	1,416	537	486	1,023	74.69	69.73	72.25
	比例代表	719	697	1,416	537	486	1,023	74.69	69.73	72.25
	国民審査	719	697	1,416	522	472	994	72.60	67.72	70.20
第4投票区 金 山	小選挙区	65	57	122	47	48	95	66.15	64.91	65.57
	比例代表	65	57	122	47	48	95	66.15	64.91	65.57
	国民審査	65	57	122	43	37	80	66.15	64.91	65.57
第5投票区 下 金 山	小選挙区	72	69	141	47	48	95	65.28	69.57	67.38
	比例代表	72	69	141	47	48	95	65.28	69.57	67.38
	国民審査	72	69	141	46	48	94	63.89	69.57	66.67
計	小選挙区	939	906	1,845	693	633	1,326	73.80	69.87	71.87
	比例代表	939	906	1,845	693	633	1,326	73.80	69.87	71.87
	国民審査	939	906	1,845	674	616	1,290	71.78	67.99	69.92

地域おこし協力隊活動記 26

本町では、8名の「地域おこし協力隊」が町の振興や発展のため活動しています。その活動内容や様子を町民の皆さんに紹介します。

しばさき ゆうこ
柴崎 優子 隊員（訪問介護支援員）

皆様こんにちは。地域おこし協力隊の柴崎です。おかげさまで1年目を終え、2年目に入りました。現在も変わらず、介護ヘルパーと高校学生寮の賄いを月2回ほど担当しています。

私の主体となる仕事は介護です。介護には一般的に「生活援助」と「身体援助」があります。現在は3人で週5日、1日3～4件を担当しています。生活援助には調理・掃除・買い物などがあり、身体援助には病院への付き添い・薬の管理・血圧測定・入浴の見守りなどが含まれます。少しでも普段と違うことがあればケアマネジャーと連絡を取り、対応していただいたり、アドバイスをいただきながら進めています。



ご利用者様から「ありがとう」「助かったよ」と言ってもらえることや、「またお願いしますね」と頼りにされることが多く、日々やりがいを感じています。

南富良野町で特に素晴らしいと感じたことがあります。それは、町内診療所への送迎や富良野市・旭川市方面の病院への送迎システムです。自宅まで迎えに来てくださり、帰りも送り届けていただけるのは本当にありがたいことで、これが続くのであれば老後も安心して暮らせると感じました。

自然と空気が綺麗な南富良野町が、これからもずっと続いていくことを心から願っています。

新しい地域おこし協力隊 「篠原 誠孝さん」が着任されました!!

1月19日付けで「移住定住推進員」として、篠原誠孝さんが着任されましたので、ご紹介します。

着任した篠原さんは株式会社 GAROO に所属しており本町に派遣となりました。同社は地方創生を担う企業として自治体と協働し、地域課題の解決に取り組んでいます。本町とは地域おこし協力隊派遣業務委託を締結しており、篠原さんは移住定住推進員として町の魅力発信や移住支援に取り組んでいきます。



「移住定住推進員」篠原 誠孝

- 出身地 北海道富良野市
- 趣味 ゴルフ、ウォーキング、ドライブ
- 町民の皆さんへ

初めまして。高校まで富良野で育ち、その後はほぼ道外で過ごしておりました。民間企業で長く営業をやっておりましたが、今回、南富良野在住の友人から移住定住事業の地域おこし協力隊の話聞き応募させていただきました。ふるさと南富良野が寂しくなるのはいやだという思いは住民の皆さんが誰しもお持ちのことと思います。そんな皆さんの南富良野愛とご期待にお応えできるよう精一杯頑張ります。よろしくお願ひします。

令和8年第1回 富良野広域連合議会定例会報告

令和8年第1回富良野広域連合議会定例会が2月9日に開催され、連合長から行政執行方針が述べられたほか、補正予算案及び新年度予算案、条例案が原案のとおり可決されました。可決・認定された案件は、次のとおりです。

広域行政に関する一般質問は、「公共串内牧場における小型ピロプラズマ症へのこれまでの対応と、これからの対策について」金子益三議員（上富良野町）から広域連合長に対し行われ、閉会しました。

【令和7年度一般会計補正予算】

○報告第1号 令和7年度富良野広域連合一般会計補正予算（第4号）

歳入歳出それぞれ853千円を増額

（単位：千円）

歳入区分	補正額	内 訳	歳出区分	補正額	内 訳
諸収入	853	自動車損害共済金	消防費	853	車両修繕料
歳入合計	853		歳出合計	853	

○報告第2号 令和7年度富良野広域連合一般会計補正予算（第5号）

歳入歳出それぞれ41,305千円を増額

（単位：千円）

歳入区分	補正額	内 訳	歳出区分	補正額	内 訳	
分担金及び負担金	41,305	市町村負担金	総務費	総務管理費	1,665	一般職給料ほか
			衛生費	清掃費	217	一般職給料ほか
			農林業費	農業費	△2,464	一般職給料・報酬ほか
			消防費	消防本部費	2,118	一般職給料ほか
				常備消防費	35,647	一般職給料ほか
教育費	保健体育費	4,122	一般職給料ほか			
歳入合計	41,305		歳出合計	41,305		

○議案第2号 令和7年度富良野広域連合一般会計補正予算（第6号）

歳入歳出それぞれ1,564千円を減額

（単位：千円）

歳入区分	補正額	内 訳	歳出区分	補正額	内 訳	
分担金及び負担金	3,587	市町村負担金	議会費	39	併任職員人件費等負担金	
使用料及び手数料	△6,182	放牧料収入ほか	総務費	総務管理費	475	併任職員人件費等負担金ほか
財産収入	198	不要物品売却収入		監査委員費	93	併任職員人件費等負担金
寄附金	300	消防費寄付金	衛生費	清掃費	△4,015	燃料及び光熱水費ほか
諸収入	533	高速道路救急業務支弁金ほか	農林業費	農業費	△1,133	車両修繕料ほか
			消防費	常備消防費	△1,255	旅費・燃料及び光熱水費ほか
				非常備消防費	△4,054	分団業務委託料ほか
			教育費	消防施設費	△5,851	車両購入費ほか
			保健体育費	14,137	賄材料費ほか	
歳入合計	△1,564		歳出合計	△1,564		

【令和8年度一般会計予算】

○議案第1号 令和8年度富良野広域連合一般会計予算（概要）

歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ2,562,304千円とする

（単位：千円）

歳入区分	本年度予算	前年度予算	増減額	歳出区分	本年度予算	前年度予算	増減額
分担金及び負担金	2,217,144	2,142,676	74,468	議会費	3,892	3,551	341
使用料及び手数料	20,365	36,364	△15,999	総務費	51,252	50,650	602
財産収入	3,305	3,117	188	衛生費	272,990	271,862	1,128
寄附金	1	1	0	農林業費	67,688	80,089	△12,401
繰越金	1	1	0	消防費	1,519,370	1,458,749	60,621
諸収入	240,504	236,854	3,650	教育費	591,129	582,535	8,594
連合債	58,900	71,100	△12,200	公債費	52,983	58,161	△5,178
国庫支出金	22,084	18,484	3,600	予備費	3,000	3,000	0
歳入合計	2,562,304	2,508,597	53,707	歳出合計	2,562,304	2,508,597	53,707

【条例の改正】

- ・＜議案第3号＞ 富良野広域連合議会議員及び特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
- ・＜議案第4号＞ 富良野広域連合職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正
- ・＜議案第5号＞ 富良野広域連合職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例の一部改正
- ・＜議案第6号＞ 富良野広域連合火災予防条例の一部改正

【その他会議に付した案件】

- ・監査委員報告（例月出納検査結果報告（令和7年度9月分～12月分）、令和7年度定期監査報告）

このコーナーでは、地域や学校で行われるイベント行事などを紹介します。皆さんの身近で行われている楽しい催しなどありましたら、企画課広報統計係（☎52-2115）（FAX 52-2922）までお知らせください。

カメラレポート

CAMERA REPORT

地域に笑顔届けて高校生が清掃ボランティア (1月30日)

南富良野高等学校3年生が、デイサービスゆうゆうで清掃ボランティア活動を行いました。

当日は、施設内の窓ふきや清掃作業のほか、季節を感じてもらえるよう、ひな人形の設置も行いました。清掃活動後は、施設利用者の皆さんと一緒に本を読んだり、トランプをしたりと、和やかな雰囲気の中で交流を深めました。生徒たちは利用者の方々の話に耳を傾けながら、笑顔で会話を楽しんでいました。



雪の上で元気いっぱい！ちびっ子スキー教室開催 (1月31日・2月7日)

町社会福祉協議会が主催し、スキー連盟及びスキーパトロール奉仕団が共催する「ちびっ子スキー教室」が、国設南ふらのスキー場で行われました。

この教室は、4月に就学を迎える幼児を対象に毎年実施されているもので、2週にわたり2日間の日程で開催され、延べ11名の子どもたちが参加しました。当日は、スキー指導員会が中心となって指導にあたり、基本動作から安全に滑るためのポイントまで、丁寧な指導が行われました。

参加した子どもたちは、初めは緊張した様子も見られましたが、次第に笑顔が増え、元気いっぱいに雪の上を滑る姿が印象的でした。



冬の舞台で全力滑走!! かなやま湖畔ジュニアGS競技大会 (2月8日)

町スキー連盟（西山雅明 会長）主催による「第45回 かなやま湖畔ジュニア・ジャイアントスラローム競技大会」が、国設南ふらのスキー場で開催されました。

大会には、地元南富良野町をはじめ富良野沿線から、小学生や幼児あわせて32名の選手が出場しました。選手たちは、日頃の練習の成果を発揮しながら、次々と旗門をクリアし、スピードと技術を競い合いました。

本大会は、ジュニア世代の競技力向上と、スキーを通じた健全な心身の育成を目的として行われており、冬のスポーツ振興を感じさせる大会となりました。



世代を超えて楽しむ!! 落合娯楽大会開催 (2月11日)

落合地区で恒例となっている「娯楽大会」が、落合連合町内会（目黒義重 会長）主催により開催され、41名が参加しました。

大会では、昨年に引き続き、子どもから大人まで幅広い世代が楽しめる競技として「モルック」が行われました。参加者はチームごとに協力しながら競技に挑み、白熱した接戦が繰り広げられ、会場は大いに盛り上がりました。

競技終了後には、参加者同士の懇親会とビンゴ大会が行われ、和やかな雰囲気の中で交流を深め、地域の絆をあらためて感じる行事となりました。



幻想的な冬の夜を彩る「かなやま湖アイスキャンドルナイト」開催 (2月14日)

かなやま湖畔キャンプ場において、南富良野まちづくり観光協会と南富良野アイスキャンドル愛好会の共催による「かなやま湖アイスキャンドルナイト」が開催されました。

白銀に包まれたキャンプ場内には、アイスキャンドルやスウェーデントーチが並べられ、灯された炎やライトアップされた木々の輝きが、冬ならではの幻想的な世界を演出していました。18時30分からは夜空に花火が打ち上げられ、澄み切った空気の中、かなやま湖に光の芸術が広がりました。また、昨年に引き続きキッチンカーや商工会青年部、地元のお店による出店が行われ、温かい食事やコーヒーなどが販売されました。日中にはスノーラフティング体験も実施され、来場者は冬のかなやま湖を存分に満喫しました。さらに今年は、初めて夜間の熱気球遊覧が行われ、キャンプ場内の幻想的な光景を上空から楽しむ新たな試みも加わりました。

当日は町内外から多くの方が会場を訪れ、冬の南富良野を楽しむ魅力的なイベントとして、今後の継続と発展が期待されます。



地域と自衛隊が連携し高齢者世帯を除雪支援 (2月19日)

富良野地方自衛隊協力会南富良野支部は、町社会福祉協議会及び陸上自衛隊上富良野駐屯地第14施設群並びに第131特科大隊の協力のもと、一人暮らしなどの高齢者住宅を対象に、除雪ボランティア活動を行いました。

当日は総勢62名が参加し、落合・幾寅・金山・下金山の4地区に分かれて、計17戸の住宅を訪問しました。参加者たちは声を掛け合いながら、軒下や玄関周りなどを中心に、丁寧に除雪作業を行い、汗を流していました。

高齢者世帯にとって負担の大きい冬期間の除雪作業を支援する、地域と自衛隊が連携した取り組みとなりました。



町の文化財や史跡について紹介します 第27回目は、「野口木工場跡」です。

※第26回目「北海道食糧事務所南富良野出張所跡」は令和8年2月号に掲載しています。

野口木工場は国策パルプ専属の請負業者として、野口木材部が金山で造材事業を始めたのは昭和21年で、金山、幾寅両営林署担当区内で年間2万石の造材であった。翌22年から移動式製材機をもって鹿越で製材業を始めた。(中略) 原木は営林署からの払下げを受け、製材は農村地帯の住宅、納屋に、市街地の新築家屋用材として供給し、札幌、小樽市へも出荷した。38年4月には野口木材株式会社幾寅工場となったが43年に廃業した。

なお、桁工場としては昭和18年5月、落合に佐藤繁太郎が創業し、戦後の29年に橋本源吾が継承、橋木桁工場として操業した。製品は道内全般に出荷されたが、33年11月24日全焼した。翌34年に再建操業し、42年同月から落合林業株式会社として発足した。

野口木工場跡の歴史は、町史に詳しく記載されています。下記二次元バーコードからご覧ください。



◀ 町史(上巻)

※町ホームページ内サイト(生涯学習係)にて史跡情報を掲載しています。

放課後児童クラブ「ジャングルクラブ」・放課後子ども教室 「サバンナ・フレンド」について

<町内の放課後児童クラブ・放課後子ども教室>

- ・放課後児童クラブ「ジャングルクラブ」 南富良野小学校区(現運営場所:南富良野小学校体育館併設)
 - 開所時間 下校時 ~ 17時30分
 - 対象 小学1年生 ~ 小学3年生
 - 問い合わせ 保健福祉課すこやかこども室こども育成係(☎52-2211)
- ・放課後子ども教室「サバンナ」 南富良野小学校区(現運営場所:南富良野小学校内多目的室)
 - 開所時間 下校時 ~ 17時00分
 - 対象 小学4年生 ~ 小学6年生
 - 問い合わせ 教育委員会生涯学習係(☎52-2145)
- ・放課後子ども教室「フレンド」 南富良野西小学校区(現運営場所:南富良野西小学校音楽室)
 - 開所時間 下校時 ~ 17時00分
 - 対象 小学1年生 ~ 小学6年生
 - 問い合わせ 教育委員会生涯学習係(☎52-2145)

▼放課後児童クラブとは?

ジャングルクラブは、南富良野小学校1年生~3年生を対象とし、保護者等がお仕事で昼間家庭にいない小学生を放課後児童支援員が常駐する施設で預かり、放課後や学校休業日における友達との遊びや生活を支援し、安全で安心な居場所を提供します。入会には申込みが必要になります。

▼放課後子ども教室とは?

サバンナは、南富良野小学校4年生~6年生、フレンドは、南富良野西小学校児童全員を対象とし、放課後や長期休業等に、安全・安心な子どもの活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の参画を得て、学習やスポーツ・文化芸術活動、地域住民との交流活動等の機会を提供しています。入会には申込みが必要になります。

南富良野町と砂金の物語 〜歴史を学び、実際に体感する 特別授業〜

1月29日、本校3年生11名を対象に、南富良野町の歴史に関わる学習の一環として、砂金採取に関する授業を実施しました。講師には、本校の学校運営協議会会長の山名賢一さんをお招きしました。

授業の前半では、南富良野町における砂金採取の歴史についての講義が行われました。山名さんからは、1891年頃からトナシベツ川周辺で砂金採取が行われていたことや、当時の人々の暮らしと砂金との関わりについて、資料を交えながら丁寧な説明がありました。生徒たちは、普段何気



なく目にして川や地域が、かつては貴重な資源を生み出す場所であったことを知り、地域の歴史に理解を深めました。

後半は、実際に砂金採取を体験しました。中頓別町の砂金採取キットとゴールドパンと呼ばれる金の鉱石を探すために使用される浅い円形

の容器を使用し、砂や水を入れて揺すりながら砂金を探す方法を学びました。作業は想像以上に難しく、慎重に水の量や揺らし方を調整しながら、砂の中に残るわずかな砂金を見つけ出そうと真剣な表情で取り組んでいました。砂金を見つけた瞬間には、教室内に歓声が上がる場面も見られました。



この授業を通して、生徒たちは南富良野町の砂金採取の歴史を学ぶと同時に、実際に体験することで、地域の歩みをより身近に感じる貴重な機会となりました。今後も、地域の歴史や文化に触れる学習を通して、郷土への理解を深めていきます。

なお、本授業の実施にあたり、貴重なお話と体験の機会をご提供いただいた、山名賢一さんに心より感謝申し上げます。



しょうぼう広報ほのお

南富良野消防団活動紹介

消防操法訓練

消防操法訓練は、消防職員や消防団員が基本的な操作を習得するための訓練です。訓練では、防火水槽からの吸水、火点への放水、撤収までの一連の手順を演じます。訓練の目的は、基本的な操作の習得、規律ある行動、正確な放水を学ぶことです。全国規模で大会が開催され、技術や規律を競います。今回は訓練の一連の流れをご紹介します。

① 整列



② 乗車下車



③ ホース展張



④ 放水



このようにポンプとホースを活用し、確実かつ迅速に水を出します。動作・操作の区切りは節度正しく行い、使用機械器具に精通するとともに、その愛護に努めます。指揮者及び各隊員は、相互に緊密な連携を保ち、一体性のある行動、動作を行います。

毎年夏に行われる、総合演習大会に向け、年に10回程度の訓練を実施し、放水までの流れを極め、現場活動に生かしています。

令和8年度には、当消防団が25年ぶりに北海道消防操法訓練大会へ参加することとなり、全国大会を目指して1月より始動しています。

南富良野消防団

(令和8年1月1日現在)

本部(団長・副団長)	2名
第1分団(幾寅・東鹿越・北落合)	18名
第2分団(落合)	14名
第3分団(下金山)	14名
第4分団(金山)	10名
	計58名

定員は70名です。

南富良野消防団はあなたの力を必要としています！

南富良野支署出動件数(令和8年1月1日～令和8年1月31日)

- 救急出動 13件(うちドクターヘリ要請件数 0件)
- 火災出動 0件(うち他市町村応援出動 0件)
- 救助出動 0件

子育て支援センター「ぷっこ」だより

☎ 52-2315

～☆★明るく元気な子に育ちますように☆★～

子育て支援センター ☎ 090-5985-4339

春の足音がそろそろ聞こえてくる季節ですね。卒園、卒業を迎える親子の皆さん、おめでとうございます。毎日のたくさんの出来事や経験が子どもを成長させてくれます。これからも親子で楽しみましょう。



☆ぷっこクラブ (新年交流会)

魚釣りが子ども達には大人気!! 今年もみんなで仲良く遊べますように。



☆ぷっこクラブ (どんころ冬遠足)

冬晴れ、ふかふかの新雪。真冬の遊びを体いっぱい楽しみました。



☆ぷっこクラブ (絵の具あそび)

指先に絵の具をつけて、ペタペタちよんちよん。色を重ねたらどんな色になったかな?



☆パパぷっこ

休日のパパと子ども達、支援センターで遊びました。お父さん同士の交流も深まりました。

保 育 所 の 元 気 な 子 ども たち

幾寅保育所

豆まき会がありました。子ども達は事前に作っていた豆入れやお面をしっかりと用意して、豆に見立てて丸めた新聞紙を元気いっぱい投げたり、びっくりして目に涙を浮かべたり、逃げ回ったりと様々な様子が見られた子ども達でした。健康で幸せに1年を過ごせますように。



金山保育所

親子行事でわかさぎ釣りをしました。前日から「いっぱい釣るから!!」と気合が入っていた子ども達。天気がとても良い中でわかさぎをたくさん釣ることが出来て最高の笑顔!! 釣れたわかさぎはその場で揚げてくれて、お腹いっぱい食べてとても楽しい1日になりました!!



★町内会に加入しましょう★

町内会は、住民みんなで協力して地域をより快適で住みやすくするための活動をしています。お祭りやゴミステーションの清掃、防災活動、そして子どもたちや高齢者のサポートまで、暮らしのあらゆる場面で関わっています。

町内会に参加することで 温かい人間関係が築けたり、地域の課題をみんなで解決できます。

地域の絆をさらに深め、より良いまちづくりにつながります！ぜひ町内会に加わってみませんか？



問い合わせ先：企画課広報統計係 ☎ 52 - 2115

寄附・寄贈

次の方々から寄附・寄贈がありました。皆さんのご厚志に対し紙上をもつて厚くお礼申し上げます。

南富良野町へ

○幾 寅 曾慶乙公様より南富良野高等学校の運営に対する寄附として 三十万円

○富良野市 山名登志男様より故山名富美男様生前のご厚志に対するお礼として 五万円

企業版ふるさと納税

○札幌市 株式会社セコマ様

○東京都

王子・伊藤忠エネクス電力販売株式会社様

○札幌市

ホクレン農業協同組合連合会様 百万円

社会福祉協議会へ

○富良野市 山名登志男様より故山名富美男様生前のご厚志に対するお礼として 五万円

○幾 寅 富樫秀雄様より故富樫キク様生前のご厚志に対するお礼として 五万円

一味園・からまつ園・こぎくら園へ

○富良野市 大居 祐次様

○幾 寅 上原 繁雄様

○幾 寅 佐藤 悦子様

○下金山 小 蕎 寿子様

○洞爺湖町 加 藤 君子様

○北広島市 鳴 海 美妃様

○旭川市 中 富 唯夫様

○根室市 佐々木 満様

○大樹町 山内 艸太郎様

○芽室町 辻 野 光之様

○士幌町 神 野 光之様

○更別村 阿 部 郁子様

○幾 寅 曾 慶 乙 公 様

★お悔やみ申し上げます

幾 寅 大居 光夫 (88)
令和8年1月12日逝去

幾 寅 飛渡 武一 (98)
令和8年1月19日逝去

幾 寅 太田 ヤエ子 (90)
令和8年1月20日逝去

金山 山名 富美男 (75)
令和8年1月22日逝去

幾 寅 佐藤 明美 (67)
令和8年1月23日逝去

幾 寅 富樫 キク (95)
令和8年1月26日逝去

幾 寅 玉置 明 (49)
令和8年1月31日逝去

🏡 わたしたちのまち

(令和8年1月末日現在)

人口 2,151人 (△9)
男 1,083人 (△6)
女 1,068人 (△3)
世帯数 1,264戸 (△4)
()内は前月比